おばあちゃん、おじいちゃんが、どうしてこんなに自殺するのでしょうか。自殺することのできるものを手もと

——年次別にみた農薬事故数の統計——

（厚生省薬務局薬事課）

		33	34	35	36	37	38	39	40
死亡	誤用	53	37	10	18	13	20	19	22
	散布中			31	29	28	19	12	11
中毒	誤用	895	538	10	26	40	24	27	15
	散布中			606	610	344	245	175	105
自殺他	未遂	65	54	67	92	75	71	109	107
	既遂	724	710	723	816	823	828	780	775
小計	中毒（未遂含む）	960	592	683	728	495	340	311	272
	死亡（既遂含む）	777	747	764	863	864	867	811	808

へどうして置いておくのが甚だ疑問に思えます。

農薬事故の発生原因となる農薬の種類をみると、パラチオンが多く、ついでエンドリンです。現在ではエンドリンも特定毒物になりましたが、いまだに農家の物置きにエンドリンの買いおきがあるのには驚きます。パラチオンですとパムとか、アトロピンとかいうような一特効薬的なものがありますが、エンドリンはないので、空しく死んでいく。いかにも手の施しようがない、典型的な、けいれん発作をおこして死んでゆくのです。

茨城県人は、カッとしやすい人が多いためか、全国統計をみても、農薬中毒例四名に対して、死亡者は六十一名と各県のトップにたっています。親族殺人の多いことを見てもとにかくそういうものが農家の手もとに年中あるということ自体、大きな社会問題だと思います。

◇ しのびこむ農薬

四十六年三月に私共は茨城県内のハウス農民二百四十三名、一般農民百六名の検診を行ないました。その際、血中のコリンエステラーゼ活性値が〇、六以下のものを異常として判定したところ、ハウス農民八八名（36%）